

資料9-5 植生調査 組成表 (ススキ群団)

群落					
ススキ群団					
No.	1	2	3	4	5
調査年	16	16	16	16	16
月	9	8	9	8	9
日	12-13	18-19	12-13	18-19	12-13
調査面積 (m)	2×2	2×2	2×2	5×5	2×2
草本層の高さ (m)	2	1.8	2	2	2
草本層の植被率 (%)	100	100	100	100	95
出現種数	15	18	17	21	14
<b>ススキ群団の標徴種</b>					
ススキ	5・5	5・4	5・5	3・3	4・4
ワラビ	+	+	1・1	2・2	1・1
ワレモコウ	+	+	+	+	+
ミツバツチグリ	+	+	+	・	+
<b>随伴種</b>					
レンゲツツジ	1・1	1・1	1・1	+	・
スゲ属	1・1	1・1	・	+	1・1
カワラマツバ	+	・	+	+	・
ヒメシロネ	+	・	+	+	・
サルマメ	・	+	+	+	・
クサボケ	+	+	・	・	・
イネ科	+	・	+	・	・
コバギボウシ	・	・	+	+	・
タチフウロ	・	・	+	+	・
チダケサシ	・	・	+	+	・
ニッコウザサ	・	・	+	・	+
ヒメシダ	・	・	・	+	+
スズラン	+	・	・	・	・
スマレ科	+	・	・	・	・
ニガイチゴ	+	・	・	・	・
ノリウツギ	+	・	・	・	・
ヤマハナワラビ	+	・	・	・	・
オオバノヤエムグラ	・	+	・	・	・
オニツルウメモドキ	・	+	・	・	・
サクラスマレ	・	+	・	・	・
サルナシ	・	+	・	・	・
ズミ	・	+	・	・	・
タチツボスマレ	・	+	・	・	・
ミヤマニガイチゴ	・	+	・	・	・
ヨモギ	・	+	・	・	・
カラマツソウ属	・	+	・	・	・
ハナワラビ属	・	+	・	・	・
ウツボグサ	・	・	+	・	・
ツボスマレ	・	・	+	・	・
ツリガネニンジン	・	・	+	・	・
メドハギ	・	・	+	・	・
ヤマカモジグサ	・	・	・	2・2	・
ヤマドリゼンマイ	・	・	・	2・2	・
オトギリソウ	・	・	・	+	・
タカトウダイ	・	・	・	+	・
ツクバトリカブト	・	・	・	+	・
ナワシロイチゴ	・	・	・	+	・
ノアザミ	・	・	・	+	・
ミヤコアザミ	・	・	・	+	・
ヨツバハギ	・	・	・	+	・
ツクバトリカブト	・	・	・	・	1・1
オニゼンマイ	・	・	・	・	1・1
カワラマツバ	・	・	・	・	+
イヌゴマ	・	・	・	・	+
サルマメ	・	・	・	・	+
ナンテンハギ	・	・	・	・	+
イケマ	・	・	・	・	+

資料9-6 注目すべき個体、集団、種の環境条件

種名	土壌水分 (mg/l)	pH	水温 (°C)	周辺植生
エンビセンノウ	14.5~17.5	-	-	・オタルスゲ群落
ボタン属	1.5~7.6	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集 ・ミヤコザサ-ミズナラ群集
ナガミノツルキケマン	5.3~7.1	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集
サナギイチゴ	2.9~4.4	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集
サクラソウ	7.7~11.7	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集 ・ヌマガヤ群落 ・ヌマガヤ-ミズゴケ群落 ・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落 ・アゼスゲ-サギスゲ群集 ・オタルスゲ群落 ・オニゼンマイ群落
ホソバノツルリンドウ	4.0~8.3	-	-	・ススキ群団
センブリ	1.2~4.6	-	-	・アカマツ群落
ケブカツルカコソウ	8.3~11.9	-	-	・ススキ群団 ・カラマツ植林
グンバイヅル	2.4~4.7	-	-	・道路沿い
ヤチコタヌキモ	-	5.81~6.41	18.1~24.3	・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落 ・アゼスゲ-サギスゲ群集
バアソブ	0.7~7.3	-	-	・ススキ群団
キリガミネトウヒレン	9.9~13.0	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集 ・ヌマガヤ群落 ・ヌマガヤ-ミズゴケ群落 ・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落 ・ヌマガヤ-キセルアザミ群集
キセルアザミ	10.0~11.6	-	-	・ヌマガヤ-キセルアザミ群集
ミヤコアザミ	2.3~7.8	-	-	・ススキ群団
コウリンカ	2.3~7.1	-	-	・オニゼンマイ群落 ・ススキ群団
ユウスゲ	0.8~7.8	-	-	・ススキ群団
ホソバアマナ	8.3~10.3	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集
オオムラホシクサ	-	5.4~6.2	15.9	・アゼスゲ-サギスゲ群集
エゾムギ	3.2~8.5	-	-	・アカマツ群落
ヌマクロボスゲ	9.0~11.5	-	-	・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落
エゾツリスゲ	8.9~15.8	-	-	・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落
マメスゲ	7.3~9.2	-	-	・レンゲツツジ-ズミ群集 ・ヌマガヤ-ミズゴケ群落 ・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落 ・ヤマアゼスゲ群落 ・オニゼンマイ群落
ヒメヒラテンツキ	7.2~8.8	-	-	・ヌマガヤ-ミズゴケ群落
ミズトンボ	7.3~10.4	-	-	・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落
ミズチドリ	10.7~11.1	-	-	・ヌマガヤ-ミズゴケ群落 ・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落
トキシウ	8.9~15.8	-	-	・ヌマガヤ-ミズゴケ群落 ・ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落
ヒトツボクロ	1.3~4.8	-	-	・アカマツ群落

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（レンゲツツジズミ群集）

群落名	レンゲツツジズミ群集*			断面図	
開空率	16.4~23.7				
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①ボタン属	1.5~7.6	-	-	斜面	オオバショウマ、ミヤマイボタ、アカアショウマ、アケボノスミレ、タガネソウ、キバナアキギリ
②キリガミネトウヒレン	9.9~13.0	-	-	沢沿い 湿地際	レンゲツツジ、ミツバツチグリ、ズミ、オニゼンマイ、サルマメ、ツタウルシ、サワギク、ヒメシダ、クサボケ、サワフタギ、ハリガネスゲ、クリンソウ
③マメスゲ	7.3~9.2	-	-		
④サナギイチゴ	2.9~4.4	-	-		
⑤ホソバアマナ	8.3~10.3	-	-		
⑥サクラソウ	7.7~11.7	-	-		

\*レンゲツツジズミ群集（ニッコウザサ）、レンゲツツジズミ群集（ハリガネスゲ）、レンゲツツジズミ群集（サクラソウ）を含む

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（ヌマガヤ群落）

群落名	ヌマガヤ群落			断面図	
開空率	上部全体が開けていた。				
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①サクラソウ	7.7~11.7			湿地際	ミツバツチグリ、ヒメシダ、ツボスミレ、クリンソウ、ヒメシロネ、ミツカドシカクイ
②キリガミネトウヒレン	9.9~13.0				
③ミズゴケ類	-			湿地内	ヌマガヤ、チダケサシ、ヒケシダ、ミツカドシカクイ

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（ヌマガヤ-ミズゴケ群落）

群落名		ヌマガヤ-ミズゴケ群落			断面図	
開空率		上部全体が開けていた。				
注目すべき種		土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH		
①サクラソウ	7.7~11.7	-	-	湿地際	ミツバツチグリ、ヒメシダ、ツボスミレ、クリンソウ、ヒメシロネ、ミツカドシカクイ	
②キリガミネトウヒレン	9.9~13.0	-	-			
③マメスゲ	7.3~9.2	-	-	湿地内	コマツカサススキ、ゴウソウ、ミツバツチグリ、ノハナショウブ、ウメバチソウ、ヌマガヤ、ヒメシロネ、ヒメシダ、チダケサシ、ミツカドシカクイ、ミツカドシカクイ	
④トキソウ	8.9~15.8	-	-			
⑤ミズチドリ	10.7~11.1	-	-			
⑥ヒメヒラテんツキ	7.2~8.8	-	-			
⑦ミズゴケ類	-	-	-			

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落）

群落名		ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落			断面図	
開空率		上部全体が開けていた。				
注目すべき種		土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH		
①サクラソウ	7.7~11.7	-	-	湿地際	ミツバツチグリ、ヒメシダ、クリンソウ、レンゲツツジ、オニゼンマイ、ヌマガヤ、ハリガネスゲ、サルマメ、ツボスミレ、アケボノソウ、ヒメシロネ、タニガワスゲ、ミツカドシカクイ、ゴウソウ	
②キリガミネトウヒレン	9.9~13.0	-	-			
③マメスゲ	7.3~9.2	-	-			
④ヌマクロボスゲ	9.0~11.5	-	-	湿地内	ヒメシダ、レンゲツツジ、ミツバツチグリ、チダケサシ、ウメバチソウ、ノハナショウブ、ヒメシロネ、ゴウソウ、バイケイソウ、ミツカドシカクイ、ヌマガヤ	
⑤トキソウ	8.9~15.8	-	-			
⑥ミズチドリ	10.7~11.1	-	-			
⑦ミズトンボ	7.3~10.4	-	-			
⑧エゾツリスゲ	8.9~15.8	-	-			
⑨ミズゴケ類	-	-	-			
⑩ヤチコタヌキモ	-	5.81~6.41	18.1~24.3	水域	イヌホタルイ	

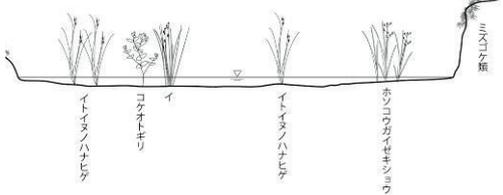
資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（ヌマガヤーキセルアザミ群集）

群落名	ヌマガヤーキセルアザミ群集			断面図	
開空率	上部全体が開けていた。				
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①キリガミネトウヒレン	9.9~13.0	-	-	湿地際	バイケイソウ、アカショウマ、シモツケソウ、ミズソバ、クリンソウ、オニゼンマイ、ヒメシダ、ヒメシロネ、ミツバツチグリ
②キセルアザミ	10.0~11.6	-	-	湿地内	ヒメシダ、ヒメシロネ、ヌマガヤ、ツリフネソウ、ウメバチソウ、オトギリソウ
③ミズゴケ類	-	-	-		

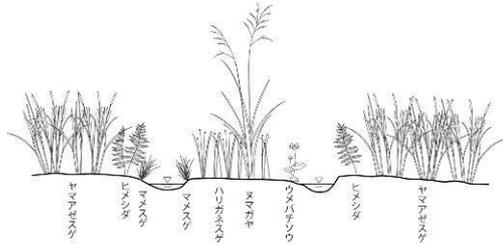
資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（アゼスゲーサギスゲ群落）

群落名	アゼスゲーサギスゲ群落			断面図	
代表地点開空率	上部全体が開けていた。				
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①サクラソウ	7.7~11.7	-	-	湿原際	ツボスミレ、ヒメザゼンソウ、ヒメシダ、ミツバツチグリ、ワレモコウ、オニゼンマイ
②ミズゴケ類	-	-	-	湿原内	モウセンゴゲ、ツルコケモモ
③オオムラホシクサ	-	5.40~6.20	15.9	水域	イヌホタルイ
④ヤチコタヌキモ	-	5.81~6.41	18.1~24.3		

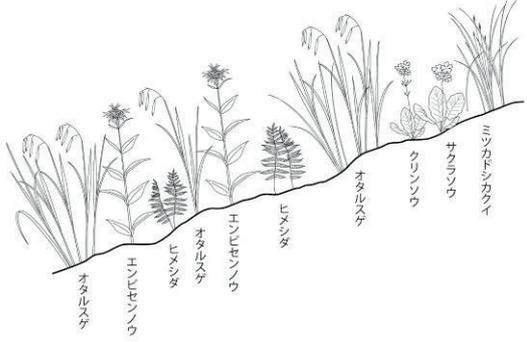
資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件  
(イトイヌノヒゲ-クロイヌノヒゲモドキ群落)

群落名:イトイヌノヒゲ-クロイヌノヒゲモドキ群落				断面図	
代表地点開空率		上部全体が開けていた。			
					
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①ミズゴケ類	-	-	-	湿原内	イトイヌノハナヒゲ、コケオトギリ、イ

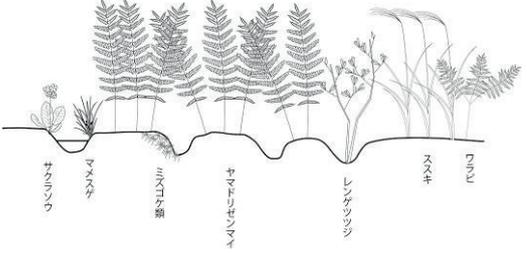
資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件 (ヤマアゼスゲ群落)

群落名:ヤマアゼスゲ群落				断面図	
代表地点開空率		7.4			
					
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①マメスゲ	7.3~9.2	-	-	湿原際	ミツバツチグリ、ハリガネスゲ、ヒメシロネ

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（オタルスゲ群落）

群落名：オタルスゲ群落				断面図	
代表地点開空率		上部全体が開けていた。			
					
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①サクラソウ	9.9~11.7	-	-	湿原際	ツボスミレ、ヒメシダ、ミツバツチグリ、タニガワスゲ、アケボノソウ、サワギク
②エンビセンノウ	14.5~17.5	-	-	湿原内	ヒメシダ、ヒメシロネ、ミツカドシカク、ハリガネスゲ、アカバナ、ミツバツチグリ

資料9-6 注目すべき群集、群落の環境条件（オニゼンマイ群落）

群落名：オニゼンマイ群落				断面図	
代表地点開空率		上部全体が開けていた。			
					
注目すべき種	土壌水分 (mg/l)	水温 (°C)	pH	生育環境	周辺植生
①サクラソウ	9.9~11.7	-	-	湿原際	オニゼンマイ、クリンソウ、ズミ、タニガワスゲ、ツボスミレ、レンゲツツジ、ヒメシロネ、ミツバツチグリ
②マメスゲ	7.3~9.2	-	-		
③ミズゴケ類	-	-	-		
④コウリンカ	2.3~7.1	-	-	草地	ワラビ、サルマメ、ススキ、ヒメシロネ、ヒメシダ、ミツバツチグリ

資料9-7 対象事業実施区域における直接改変後の水源涵養機能の予測

区分	群集・群落	改変後 面積 (ha)	評価値	評価基準					
				① 階層 構造	② 団粒 構造	③ 樹冠 葉量	④ 高木	⑤ 下層 状況	⑥ ミズ ゴケ
木本群落	ミヤコザサ-ミズナラ群集	3.18	2		○			○	
	レンゲツツジ-シラカンバ群集	3.57	2		○			○	
	ハリエンジュ植林	0.00	4		○	○	○	○	
	アカマツ群落	41.70	1					○	
	カラマツ植林	44.48	0						
	カラマツ・ヒノキ植林	0.42	0						
	レンゲツツジ-ズミ群集 <sup>*1</sup>	2.32	1					○	
	先駆性樹林群落 <sup>*2</sup>	0.83	1					○	
草本群落	ヌマガヤ群落	0.01	1					○	
	ヌマガヤ-ミズゴケ群落	0.00	2					○	○
	ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落	0.00	2					○	○
	ヌマガヤ-キセルアザミ群集	0.00	2					○	○
	アゼスゲ-サギスゲ群落	0.00	1					○	
	イトイヌノヒゲ-クロイヌノヒゲモドキ群落	0.00	2					○	○
	ヤマアゼスゲ群落	0.00	1					○	
	オタルスゲ群落	0.00	1					○	
	オニゼンマイ群落	0.16	2					○	○
	ススキ群団	2.25	1					○	
その他	道路	0.01	-	-	-	-	-	-	-
	植生区分：19	98.92	1.55						

\*<sup>1</sup>レンゲツツジ-ズミ群集(ニッコウザサ)、レンゲツツジ-ズミ群集(ハリガネスゲ)、レンゲツツジ-ズミ群集(サクラソウ)の3区分を統合し、レンゲツツジ-ズミ群集とした。

\*<sup>2</sup>先駆性樹林群落：ヌルデやヤナギ類などの先駆性の低木が混じり優占種の判断が困難な群落

資料9-7 対象事業実施区域における直接改変後の土壌保全機能の予測

区分	群集・群落	改変後 面積 (ha)	評価値	評価基準				
				⑦ 緊縛力	⑧ 樹冠	⑨ 落葉落枝	⑩ 樹木直径	⑪ 草本層
木本群落	ミヤコザサ-ミズナラ群落	3.18	2	○				○
	レンゲツツジ-シラカバ群落	3.57	2	○				○
	ハリエンジュ植林	0.00	3		○	○		○
	アカマツ群落	41.70	1					○
	カラマツ植林	44.48	0					
	カラマツ・ヒノキ植林	0.42	0					
	レンゲツツジ-ズミ群集 <sup>*1</sup>	2.32	1					○
	先駆性樹林群落 <sup>*2</sup>	0.83	1					○
草本群落	ヌマガヤ群落	0.01	1					○
	ヌマガヤ-ミズゴケ群落	0.00	1					○
	ヌマガヤ-ヌマクロボスゲ群落	0.00	1					○
	ヌマガヤ-キセルアザミ群集	0.00	1					○
	アゼスゲ-サギスゲ群落	0.00	1					○
	イトイヌノヒゲ-クロイヌノヒゲ ゲモドキ群落	0.00	1					○
	ヤマアゼスゲ群落	0.00	1					○
	オタルスゲ群落	0.00	1					○
	オニゼンマイ群落	0.16	1					○
	ススキ群団	2.25	1					○
その他	道路	0.01	-	-	-	-	-	-
	植生区分：19	98.92	1.66					

\*<sup>1</sup>レンゲツツジ-ズミ群集（ニッコウザサ）、レンゲツツジ-ズミ群集（ハリガネスゲ）、レンゲツツジ-ズミ群集（サクラソウ）の3区分を統合し、レンゲツツジ-ズミ群集とした。

\*<sup>2</sup>先駆性樹林群落：ヌルデやヤナギ類などの先駆性の低木が混じり優占種の判断が困難な群落